



苓北町議会だより

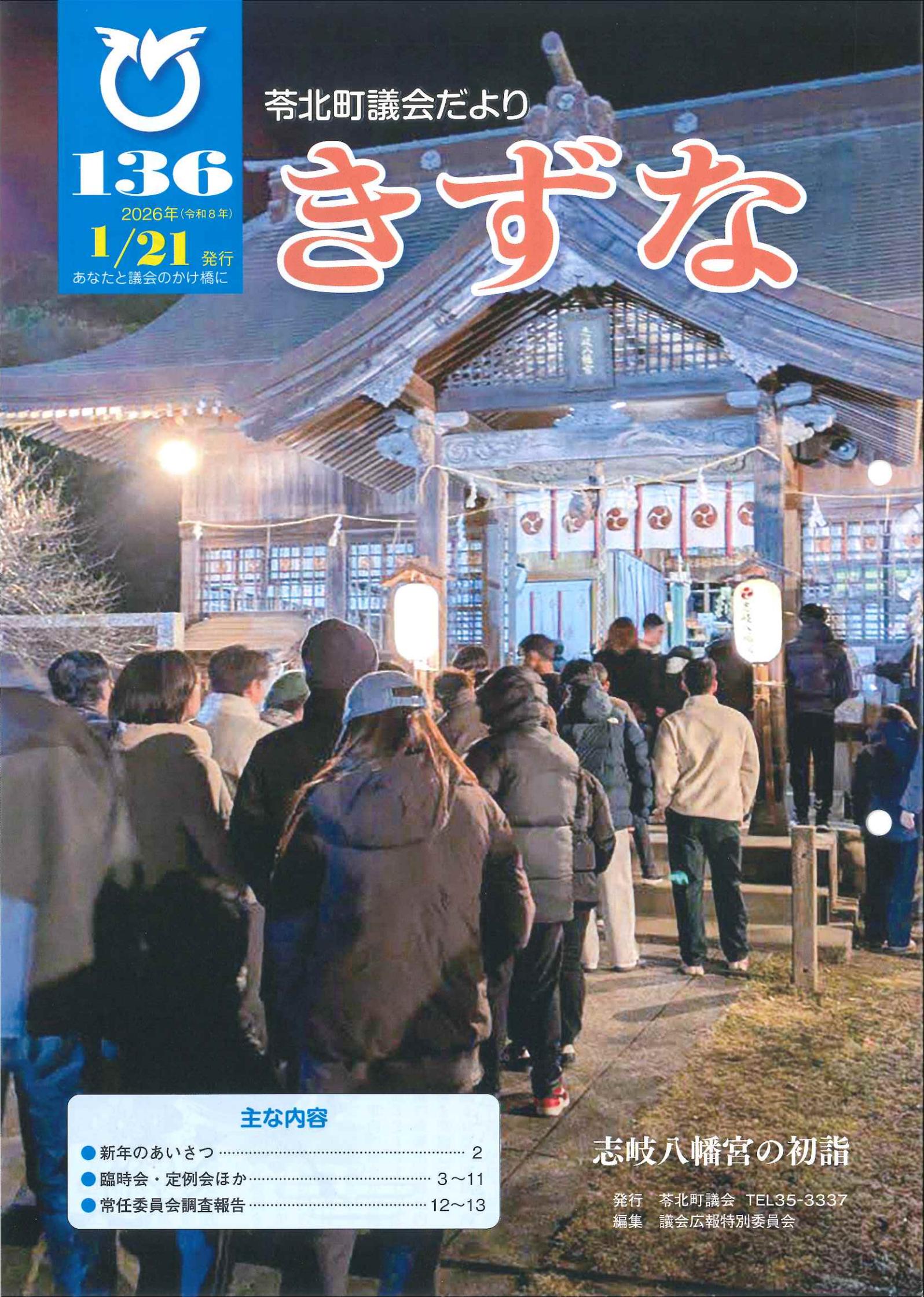
136

2026年(令和8年)

1/21 発行

あなたと議会のかけ橋に

きずな



主な内容

- 新年のあいさつ 2
- 臨時会・定例会ほか 3~11
- 常任委員会調査報告 12~13

志岐八幡宮の初詣

発行 苓北町議会 TEL35-3337
編集 議会広報特別委員会

新年あいさつ



苓北町議会 議長

野崎 幸洋



謹んで新春のお祝いを申し上げます。

町民皆様、令和八年の新年もご家族おそろいで輝かしい年をお迎えのことと存じます。新年もどうぞよろしくお願い致します。

日頃より、議会活動に際しご理解とご協力を頂いております事に、心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年は、女性初の高市早苗内閣総理大臣が誕生し、日本の政界にとって歴史に残る一年となりました。

その高市政権を支える閣僚の中に、熊本県選挙区の木原官房長官と、金子国土交通大臣のお二人が入閣され、県民として誇らしく思うと同時に、これほどにないチャンスが訪れたのではないかと思います。

熊本県民をはじめ、天草島民が抱える農林水産業、商業関係など多くの諸問題の改善と、長年の懸案事項であります、熊本・天草間を90分で結ぶ「熊本天草幹線道路」の早期完成に向けた予算

確保に大いに期待したいと思います。また、私たち第18期の苓北町議会議員の任期も、いよいよ、あと一年となりました。

苓北町は、人口減少と少子高齢化が進み、一次産業などの担い手不足などが大きな課題となっております。

それぞれの議員が、残りの任期の中で、やり残した「仕事」が無いよう、そして「町民の負託」に少しでも応えられるよう努力し、町執行部と共に知恵を出し合い苓北町の発展のために真摯に取り組んで行かなければならないと考えております。

これからも、町民皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。結びに令和八年も、苓北町が活気にあふれ輝かしい一年になる様、また、町民皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年の挨拶とさせていただきます。

こんなことが決まりました!!

令和7年 第4回議会臨時会 開催日：10月21日

■令和7年度専決補正予算について

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
承認7号	専決第7号 一般会計補正予算(第4号)	6,362,313	3,986	6,366,299	令和7年9月豪雨に伴う災害復旧等に係る補正	◎

【結果の表示について】 ◎全会一致で承認

■条例制定等について

議案番号	事 件 名	備 考	結果
発議第9号	苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	物価高騰を考慮し、住民生活の安定化に寄与するため、令和7年度12月支給の議会議員の期末手当を削減するもの。 提出者：浜口雅英議員	×
発議第10号	苓北町立小中学校の児童及び生徒に係る学校給食費無償化に関する条例の制定について	物価高騰を考慮し、保護者の負担軽減を図り、子育て支援を推進するもの。 提出者：浜口雅英議員	×
議案第42号	製造請負契約[苓北町防災行政無線システム更新業務]の締結について	契約の目的：苓北町防災行政無線システム更新業務 契約の相手方：福岡市 日本電気株式会社九州支社 契約金額：315,724,200円	◎
議案第43号	請負契約[上津深江広域避難地防災公園整備工事(その1)]の締結について	工事名：上津深江広域避難地防災公園整備工事(その1) 契約の相手方：苓北町 株式会社 長興興業 契約金額：160,028,000円	○
議案第44号	請負契約[上津深江広域避難地防災公園整備工事(その2)]の締結について	工事名：上津深江広域避難地防災公園整備工事(その2) 契約の相手方：苓北町 株式会社 レイジユウ 契約金額：117,700,000円	○
発議第11号	意見書の提出について(世界の恒久平和の実現を国に求めるもの)	左記内容を国会や関係行政庁へ提出するもの。 提出者：浜口雅英議員 賛成者：倉田明議員	◎

【結果の表示について】 ◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 ×賛成少数で否決(賛否表は下欄のとおり)

高戸議員

本契約は、住民の意見を取り入れ何回となく協議を経て今回の提案となったものと解しています。

本防災公園整備工事にあたっては、工種の関係から複数の事業者が施工にあたるわけであり、従来に増して工事期間中の安全管理に努め、工事通りの進捗を無事竣工することをお願い致します。

原案に賛成討論

議案第43号 請負契約[上津深江広域避難地防災公園整備工事(その1)]、議案第44号 請負契約[上津深江広域避難地防災公園整備工事(その2)]の締結に対する討論

■賛否表 (○ 賛成 ・ ● 反対 議長(野崎)は採決に加わらない)

議案番号等	事 件 名	結果	表採決		田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田崎	倉田	錦戸	高戸	野崎
			賛成	反対										
発議第9号	苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	否決	2	7	●	●	●	○	○	●	●	●	●	-
発議第10号	苓北町立小中学校の児童及び生徒に係る学校給食費無償化に関する条例の制定について	否決	2	7	●	●	●	○	○	●	●	●	●	-
議案第43号	請負契約[上津深江広域避難地防災公園整備工事(その1)]の締結について	可決	8	1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-
議案第44号	請負契約[上津深江広域避難地防災公園整備工事(その2)]の締結について	可決	8	1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-

- ①人材の確保について
- ②農地・施設災害復旧事業設計手数料の検討を
- ③令和8年度に向け事業への取り組み



高戸 幸雄 議員

問① 令和8年度給与改定は、人事院勧告と国の水準を超えた県人事委員会給与報告・勧告がされ相違したものと。今回上程された改正案を採用した理由は。最近、「イベント」の開催が多いと感じる一度原点到に戻り検討整備の必要があるのではないかと。勤務形態に、「代休」制用いられているが、「代休」は必要最小限にとどめるべきと解する。

町長 全国的な基準である人事院勧告に準じた給与改定案を今回上程した。イベントについては、令和8年度は例年を上回る開催が見込まれており、行事調整会議の中で、協議検討を重ねることとした。職員の勤務取り扱いについては、内規を定めて取り扱いをしている。

問② 農地及び農業施設の災害復旧工事において、設計委託料手数料条例が制定されている。工事費にはそれぞれ県・町補助金があるが設計手数料には、補助金制度がない。過去3年施工箇所は何れも中山間地域であり今後も中山間地域の水田畦畔・法面が被災箇所と想像される。中山間地域の農業振興対策として手数料条例の廃止を含めた検討を。

町長 「茶北町国土強靱化地域計画」に基づき、国・県と連携しながら、必要な箇所の早期着手、早期完成を要望していく。特に、幹線道路の国道の整備改良、志岐・上津深江川の河川改修、県道の山間部の路面整備や法面対策などは早急に実施されるよう努力をしていく。

町長 本条例は、実施設計工事費を賦課基準として定め徴収している。基幹産業である農業について、現地域計画の中で、効果的な取り組みを模索している。災害復旧工事において、再整備した農地は、地域や周辺農地の環境保全の効果も期待される。他自治体の状況を調査し検討を行う考えである。

再質 農業用施設の頭首工が被災した場合対象者の取り扱いに問題が生じてくると思う。町としての対応の手順の確立を。

問③ 安心・安全のための時限措置であった防災・減災対策及び国土強靱化事業が令和8年度以降も継続し対象事業の拡充を図ることが提案されておられる成果を得る最大の機会が来年度と思う。特に、重要視されている事業は。

町長 「茶北町国土強靱化地域計画」に基づき、国・県と連携しながら、必要な箇所の早期着手、早期完成を要望していく。特に、幹線道路の国道の整備改良、志岐・上津深江川の河川改修、県道の山間部の路面整備や法面対策などは早急に実施されるよう努力をしていく。

安心して住めるまちづくり

一 過疎自治体からの脱却

浜口 近年の社会情勢は、人口減少と高齢化による若年労働者の減少という厳しい社会現象が見られる。この事が地方自治体の人口減少につながり、過疎化、消滅自治体と呼ばれる事になるのではないかと。

1950年代中盤から1970年代初頭にかけて日本が年平均約10%の実質経済成長率を記録し、急激な経済発展と国民生活の向上を達成した、この期間日本は戦後の混乱から脱却し急速な経済成長を遂げた。

この時期茶北町では、国の農業振興施策によってミカン園の造成に取り組み、現在も地域の特産品として活躍している。

平成7年12月には九州電力茶北発電所1号機が営業運転を開始し、平成15年には2号機が運転を開始している。発電能力は70万kWで1号機2号機の2基では140万kWに達し熊本県の電気エネルギー需要量の実に3分の2を供給する事が可能といわれている。

先の議会の一般質問で提起したが、熊本空港そばの自治体に投資額1兆2,900億円がTSMCが2024年2月24日開所式を行った。国も県も万全の対応が予測される。福岡から鹿児島までの陸路の交通インフラの高速化等が期待出来る。これを機に福岡港と茂木港間のフェリー就航の復活による観光産業の充実を訴えたが如何か。

1956年、昭和31年の1町3村の新



英 雅 議員

自治体が発足しこの時の人口は、16,404人。

そして、1970年、昭和45年茶北町は過疎地域指定に指定された。この時の人口減少率は11.6%、財政力指数は0.19。国勢調査による人口は、12,445人、世帯数は3,241所帯であった。

熊本市と天草を結ぶ熊本天草幹線道路の早期完成が求められている。8月の記録的大雨で上天草市の2から3号橋間は、宇土半島の国道57号線266号線が一時通行止めになった事から、天草は完全に孤立したとの声があり能登半島災害を彷彿した。さらに、天草広域消防本部には陸路が寸断され救助活動が難航したとの記録も残されている様だ。

この様な中で、国は1994年に熊本天草幹線道路を地域高規格道路の計画路線に指定されましたが、延長70kmのうちこれまで18kmが開通したに止まっています。住民の生活の安寧のためにたまたみに高規格道路を完成させるべき、過疎化自治体からの脱却を目指す手段は人口減少の抑止力と思われる。町単独ではなく、国県を巻き込んだ大胆な施策と予算の確保によって、茶北町を過疎化自治体から脱却させるべき。

町長 町の現状をより一層調査確認し、関係者や関係団体にも強く協力依頼し、安心して住める町づくりの構築に努めたい。

一 森林環境譲与税活用について

問① 森林管理・林業の課題として、人手不足、採算性の低さ、管理コストの過大が挙げられる。森林管理(整備)は、森林組合などへ委託され人工林を維持管理されているが、森林組合なども人材不足により、間伐・枯伐などの事業が進まない状況にあると思う。

①山林所有者が、人工林の間伐・枯伐等を行った場合に補助対象となるのか。なるとすれば、面積・金額などの補助基準などはどのようにしているのか。

②災害防止、交通事故防止、町民の安全確保のため、公道敷などに繁茂している支障木竹などを伐採し、的確な維持管理は出来ないか。

③風雨、暴風などによりインフラ施設などに不具合が生じる恐れもある適正な維持管理のため支障木などの伐採は出来ないか。お伺いします。

町長 ①自ら管理する場合、国、県及び町から補助金を受ける場合、一定区域内の30ha以上の面積を5年間の森林計画作成と認定が必要。

②森林基幹道茶北線他9路線の林道延長35kmにおいて、支障木の伐採除草作業の維持管理をしている。

③ライフラインの被害未然防止のため事前伐採に関する協定をしている。危険箇所を把握しながら、今後も森林環境譲与税を活用しながら、適

切な保全管理に努める。

二 就学支援金制度の充実について

問② 現行では、天草拓心高校マリン校舎入学者のみ、3万円の支給となっている。子育て支援の観点から高校入学者全員への、入学祝い金として、同等の祝金を支給することが出来ないかと思う。自分の将来の進路を決めて、それぞれの高校を選択され勉学に励まれている。

町内に立地する天草拓心高校マリン校舎の入学者を確保し、活性化を図っていくための制度は、分らないではないが、同じ町民に対し、公平公正に欠けるのではないかとお伺いします。

町長 町内に立地する高校への入学奨励及び保護者負担軽減を図ることを趣旨に支給している。また、町と包括連携に関する協定書を締結し、地域の発展及び高校の魅力向上を図り、地域創生を担う人材育成について、連携・協定のもと推進している。補助金のあり方については、目的、財源の見直しを考慮しながら子育て支援事業を含め、引き続き総合的に支援メニューを検討する時期に来ている。



春 俊 議員

問① 茶北町保健推進員について

町長 保健推進員の方には、5月期に、6月の地域検診を受診される方に対しての検査用品の配布と、1月期に、翌年度に実施する地域健診に係る意向調査票の配布を行っていた。

その報價については、その支給に関する規則に基づき、均等割7割、世帯割3割で配布実績数に応じ、配分、支給している。

令和6年度のその支給額は、一番少ない区で11世帯9,000円の支給。一番多い区で157世帯17,500円の支給となっており、その差は146世帯、額で8,500円となっている。

今後、他の報酬との割合(均等割・世帯割)と比較、業務内容を勘案しながら、実績に見合った支給となるよう、再検討を進めて参る。

保健推進員には、顔の見える形で地区民の方々と行政の橋渡し役となっていたらいい。

引き続き、町民の健康促進と保健事業の推進にご協力いただきたい。

問② おたふくかぜワクチン接種の公費助成について

町長 おたふくかぜの症状は、ムン



英 幸 議員

プスウイルスによる全身感染症で、飛沫感染、接触感染後に、増殖したウイルスが全身に広がり、各臓器に病変を起こすもので、ウイルスの潜伏期間は2・3週間とのこと。

おたふくかぜワクチンは、ムンプスウイルスを弱毒化した生ワクチンで、1歳以上が対象となり、1回接種の任意接種となっているが、日本小児科学会では、2回接種を推奨、その効果は、80%程度と考えられている。

ワクチン接種の公費助成については、県内自治体の助成状況として、10自治体を確認、1回の接種につき、3,000円から6,000円程度を限度に実施されている。

国において、定期接種化について検討が続けられていることもあり、国の動向を注視、今後の対応を検討して参る。

安心して暮らせる為の要望等について



松本良人 議員

問一 町花、町木について
町では当然、国旗と同様に町花、町木も一体として扱われるべきであると思われるがその存在は忘れ去られていくようである。
本来自ら、庁舎内の緑樹の部分には、町木の椿と、ハマユウが生い茂りその存在感が示されるべきだが、その兆候は見られない。町としての考えを尋ねる。
町長 庁舎周辺、又自生するハマユウ、椿の管理に努め後世に残していく。
問二 安心して暮らせる町づくりの為に要望等の対応について
先の議会でも一般質問したが解答に難が有ったので、これまでに要望し、成果がない箇所を箇条書きにより通告し尋ねる。
一 町道小松線入り口決壊補修
町道小松線入り口決壊補修
二 町道竹の迫1号線路側決壊
町道竹の迫1号線路側決壊による路面補修
三 町道古里二線、多々良三線ほか都呂々中央部路面補修
町道古里二線、多々良三線ほか都呂々中央部路面補修
四 国道三九号線財産区山林抜開及び、同国道崩壊対策
国道三九号線財産区山林抜開及び、同国道崩壊対策
五 町道年柄狸川内線路面陥没及び、路面補修
町道年柄狸川内線路面陥没及び、路面補修
六 町道測量設計を行う。
町道測量設計を行う。
七 三合川下流域の越流、防災対策。紺屋町地区等水没の恐れ
三合川下流域の越流、防災対策。紺屋町地区等水没の恐れ
八 ペーロン大会前に富岡温泉センターと県管理道路緑樹帯の草刈りをお願いしたが町道管理内容と異なる実施無し
九 都呂々川支線災害(数十年前から決壊)
都呂々川支線災害(数十年前から決壊)
十 巡回バスの見直し(CO2対策)
巡回バスの見直し(CO2対策)
十一 国道三九号線、都呂々宮地岳線交差点交通安全対策
国道三九号線、都呂々宮地岳線交差点交通安全対策
十二 県への要望は必要はない
県への要望は必要はない
十三 人身事故が発生している。再度発生恐れあり。県が無理なら町費で実施を
人身事故が発生している。再度発生恐れあり。県が無理なら町費で実施を
十四 町内旧バス路線の富岡、坂瀬川間並のインフラ対策
町内旧バス路線の富岡、坂瀬川間並のインフラ対策
十五 通学バスの見直し
通学バスの見直し
十六 現状では、厳しい
現状では、厳しい
十七 検討内容に問題あり。再度検討を
検討内容に問題あり。再度検討を
十八 国道三九号線、萱の木1号線起点部雨天時の水没
国道三九号線、萱の木1号線起点部雨天時の水没
十九 完了
完了
二十 小松妙見の滝、滝つぼ及び、河川浸濫
小松妙見の滝、滝つぼ及び、河川浸濫
二十一 都呂々港湾管理道路の封鎖による対策
都呂々港湾管理道路の封鎖による対策
二十二 都呂々、小松宇土線改良工事
都呂々、小松宇土線改良工事
二十三 用地取得を進めている
用地取得を進めている
二十四 必要に応じ補修等を行う
必要に応じ補修等を行う
二十五 志岐、国道三二四号線から農協本所に通ずる町道志岐内田線の拡幅
志岐、国道三二四号線から農協本所に通ずる町道志岐内田線の拡幅
二十六 拡幅工事は出来ない。
拡幅工事は出来ない。
二十七 町道濁り淵1号線舗装、改修
町道濁り淵1号線舗装、改修
二十八 未舗装約110m来年度計画。
未舗装約110m来年度計画。

①地域保全とふるさと納税増収への取り組みについての提案
②体育館施設の整備についての提案



田嶋健司 議員

我が茶北町でも、農業者の高齢化や後継者不足による若手農業者の減少で、耕作面積の縮小による耕作不在の農地や耕作放棄地が増加している。耕作者が決まらない水田を「地域おこし協力隊」や都心部からの新規就農希望者に耕作、管理してもらい、そこで出来た米をふるさと納税の返礼品として利用できないか。また、ふるさと納税の中に「水田オーナー制度」のような水田を一時的に貸し出すことにはできないか。また、米価が決められることにより、営農計画が明確化し、就農へのリスクが低下し、新規就農希望者が営農しやすい環境もできるのではないかと。
経営や栽培指導などの体制づくりが重要となるので、個人や地域、JAれいほくなどの団体と協力しながら、実現の可能性について検討して参る。「ふるさと納税」の中に「水田オーナー制度」のような水田を一時的に貸し出すことはできないのか。については総務省の運用ルールに照らしながら、慎重に検討を進めて参る。

町長 経営や栽培指導などの体制づくりが重要となるので、個人や地域、JAれいほくなどの団体と協力しながら、実現の可能性について検討して参る。「ふるさと納税」の中に「水田オーナー制度」のような水田を一時的に貸し出すことはできないのか。については総務省の運用ルールに照らしながら、慎重に検討を進めて参る。
再質 合併予定地の現志岐小学校体育館に、設備を早急に設置し、スクールバスを利用して、合併前から体育の授業を各校合同でしてみてはどうか。
教育長 体育センターや他の施設も含めて、検討して参る。

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

質問 外国人材の育成・確保対策について
政府は、令和7年9月26日の閣議で、技能実習に代わる外国人材の新たな受け入れ制度「育成就労」を創設する改正入管難民法などの関連法を令和9年4月1日から施行すると決定。外国人材の育成・確保を目的とする「育成就労」では、農業や建設業など人手不足が深刻な17の産業分野で受け入れる予定で、原則3年働いた後、中長期での就労が可能な別制度「特定技能」への移行を促すとのこと。
令和7年10月31日末時点の茶北町の在留外国人は、総人口6,064人のうち外国人は89人(全体の1.5%)で、令和2年10月末と比較して総人口が941人の減、外国人は14人増加している。外国人労働者は、高齢化が進んでいる農業や縫製産業の重要な労働力となっており、近年病院や介護分野での雇用も増加している。令和9年4月から「育成就労」制度に移行した場合、技能実習生がより良い職場、より良い自治体へ転職することが可能となることから、茶北町の外国人労働者が町外へ転出するのではと思われる。外国人労働者を長く茶北町で働いてもらうためには、安心して生活できる環境を整



山口利生 議員

町長 令和7年10月末現在の茶北町外国人登録者は89名で、国籍別では最多がベトナム45名、次いでミャンマー33名、インドネシア9名で9か国の方が様々な仕事に従事している。外国人の皆様が生活しやすい環境整備を進めるため、天草市にある外国人支援団体のワールドフレンズ天草に委託して、年間を通じた複数の言語による相談対応や年4回の交流事業を実施している。当該団体は、天草市からも同様の業務を受託し、また県内全域の外国人を支援する業務も受託されていることから外国人相談のノウハウを蓄積しており、引き続きワールドフレンズ天草へ支援業務を委託する考えである。

こんなことが決まりました!!

令和7年 第5回議会定例会 開催日：12月2日~4日

条例制定等について

Table with 4 columns: 議案番号等, 事件名, 備考, 結果. Contains 10 items regarding regulations and council decisions.

【結果の表示について】◎全会一致で承認 ×賛成少数で否決 一採決なし(賛否表はP11のとおり)

■賛否表 (○ 賛成 ・ ● 反対 議長(野崎)は採決に加わらない)

議案番号等	事 件 名	結果	表採決											
			賛成	反対	田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田崎	倉田	錦戸	高戸	野崎
発議第12号	苓北町税条例の一部を改正する条例について	否決	1	8	●	●	●	○	●	●	●	●	●	-
発議第13号	苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	否決	2	7	●	●	●	○	○	●	●	●	●	-
発議第14号	苓北町立小中学校の児童及び生徒に係る学校給食費無償化に関する条例の制定について	否決	2	7	●	●	●	○	○	●	●	●	●	-

■陳情等文書の取扱い結果

令和7年11月20日現在

受理年月日/番号	件 名	提出者住所氏名	取扱方法
R7.11.10 陳情第3号	安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	熊本県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 一二三美香	議員配布
R7.11.10 陳情第4号	介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める陳情書	熊本県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 一二三美香	議員配布
R7.11.10 陳情第5号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情書	熊本県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 一二三美香	議員配布

■令和7年度各会計補正予算について

(単位：千円)

議案番号等	事件名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果	
議案第48号	一般会計補正予算(第5号)	6,366,299	135,339	6,501,638	災害復旧費の増ほか	○	
議案第49号	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	1,056,661	161	1,056,822	給与改定に伴う人件費の増ほか	○	
議案第50号	介護保険特別会計補正予算(第2号)	1,097,503	172	1,097,675	給与改定に伴う人件費の増ほか	○	
議案第51号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	157,105	△4,456	152,649	保険基盤安定負担金の確定による減	○	
議案第52号	水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収入	192,419	10	192,429	公営企業適用債の借入れ利子の確定に伴う増	○
		収益的支出	279,605	8,206	287,811	志岐浄水場のろ過ポンプ取替修繕に伴う増ほか	○
		資本的支出	49,420	4,800	54,220	志岐川単県改良事業水道管路移設計画委託料の増	○
議案第53号	下水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収入	320,266	279	320,545	人件費増に伴う下水道事業繰入金の増ほか	○
		収益的支出	535,892	251	536,143	人事院勧告等に伴う人件費の増ほか	○
		資本的収入	266,430	△69	266,361	県補助金69千円を収益的収入へ予算組替え	○
		資本的支出	263,924	△41	263,883	長期償還金(元金)41千円を収益的支出へ予算組替え	○

【結果の表示について】◎全会一致で承認

議会全員協議会

令和7年12月3日(水)開催

1. 子ども子育て支援金制度について

子ども・子育て支援金制度について、次の説明を受けた。

(1) 制度について

この制度は、全世代や企業の皆さまから支援金を拠出したとき、それによる子育て世帯に対する給付の拡充を通じて、子どもや子育て世帯を社会全体で応援する仕組みである。

(2) 支援金が充てられる事業

- ① 児童手当の拡充
- ② 育児時短就業給付
- ③ 育児期間中の国民年金保険料免除
- ④ 妊婦のための支援給付
- ⑤ 出生後休業支援給付
- ⑥ ことも誰でも通園制度

(3) 支援金に関する試算

支援金額は、加入する医療保険制度や所得に応じて異なるが、全ての医療保険制度の加入者で平均すると、令和8年度では加入者一人当たり月額250円(令和9年度で350円、令和10年度で450円)と試算されている。

(4) 制度が始まる時期

支援金は、令和8年4月1日から医療保険料とあわせて拠出したとき、実際に徴収が開始する時期は、加入する医療保険によって異なる。

発議第12号 苓北町税条例の一部を改正する条例に対する討論

原案に賛成討論

松本議員

私は発議で軽自動車税の見直しを提案した。
物価高で、庶民の暮らしは限界にきている中、平成24年まで課税されていたなかった田植機、コンバイン、レタス収穫機や移植機、ほ場内運搬機、パツクホウ等の作業車について、課税されている。又、税条例第80条で、三輪以上の軽自動車に対し課税することとなっているが、本町ではバックホウやコンバイン等の三輪以外の作業機にも課税されているが、一部課税されていないのがあるのではないかと思われる。税の徴収に不公平がある。また現在の経済状況から軽自動車税の見直しが必要である。

発議第14号 苓北町立小中学校の児童及び生徒に係る学校給食費無償化に関する条例に対する討論

原案に反対討論

倉田議員

令和5年3月議会で、乳幼児保育料等に関する食費、保育料等と、小・中

学校の児童生徒の給食費の無償化等を一般質問し、その後、苓北町議会として、国にこれら子育て支援の意見書を提出した。

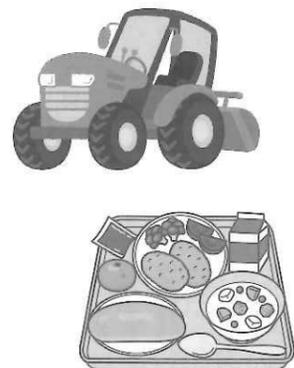
町は、保育料金の一部無償化しているが、令和6年4月から無料化となり、学校給食も財源の見通しができれば保護者負担軽減に取り組みをいわれている。

今、国会で給食費無償化の議論の中、令和8年から実現する予定。暫く様子を見て良いのではと思う。

原案に賛成討論

浜口議員

私たち苓北町議会は、乳幼児保育・教育に伴う、保育・教育施設等の食費と保育料・利用料、及び義務教育における小・中学校給食費の無償化を国に求める意見書を、発議第4号とし令和5年3月13日原案可決後、苓北町議会野崎議長へ提出し、さらに、同じ内容の意見書を衆参両院議長、内閣総理大臣へ提出しています。



2. 苓北町義務教育学校建設基本構想の進捗状況について

苓北町義務教育学校建設基本構想の進捗状況について、次のとおり説明を受けた。

● 新校舎の位置は、志岐小学校及びその周辺とする。

● 志岐小学校校舎は既存のまま使用するが、新校舎の位置によっては既存校舎の職員室の改修が必要となることもある。

● 志岐小学校プールは解体し、町温泉プールを活用する。

● 学校給食共同調理場については、既存のまま使用する案と移設新設する案(2つ)、調理場を新校舎一体型とする4つの案がある。

● 既存の調理場を残すか解体するか、また解体する場合、移設して建て替えるか校舎一体型とするかによって新校舎の配置や規模が変わってくる。

● 新校舎を建設するにあたっては、子どもたちが日々生活する学び舎となるので、子どもたちの動線を含め、利便性が高く、よりよい教育環境の整備充実を図っていくことが重要だと考えている。

※苓北町義務教育学校は、令和12年4月1日開校の予定です。

総務文教厚生常任委員会
調査報告

委員長 倉田 明

総務文教厚生常任委員会は、11月5日及び11月7日に次のとおり行政視察調査を行い、12月定例会に調査報告書を提出しました。概要は次のとおりです。

1. 視察調査先
 - ① 苓北中学校、富岡小学校、志岐小学校（11月5日）
 - ② 都呂々小学校、坂瀬川小学校（11月7日）
2. 出席委員
 - 倉田明委員長、田崎稔副委員長、田嶋健司委員、廣田幸英委員、松本良人委員 ※5日午後、田嶋委員欠席



視察調査（苓北中学校）

3. 委員以外の出席
 - 野崎幸洋議長（11月5日）
4. 調査内容及び調査結果等
 - (1) 健康面及び体力面について
 - 視力の低下や、う歯を有する児童生徒が各校にみられる。これらの児童生徒で病院受診を要する者には学校から病院受診が勧められ、受診状況を定期的に確認するなど、受診率向上に努められていた。また、規則正しい生活習慣の定着に向けた保健指導や食物アレルギーへの対応も行われていた。
 - 体力面では柔軟性、瞬発力、走力、跳躍力が課題とされ、これらの課題解決と体力向上に取り組みれていた。
 - (2) 各校の学力度の状況について
 - 小中学校の学力に関しては、小中学校で共通して進んでいる「学びの共同体」の成果がでてきている。各学校ともに児童生徒の学力向上に真剣に取り組まれており、児童生徒の学習態度も良好であった。
 - (3) 長期欠席等の状況について
 - 多くの児童生徒が元気に学校に通っている。長期欠席者への対応については、保護者や関係機関と連携し、各校とも組織的に対応されている様子が見られた。
 - (4) 体育館に設置されているスポーツクーラーの利用状況について
 - 体育の授業、集会などの行事の際や部活動、社会体育等で利用されているが、体育館内（室内）全体を冷やすものではないため、工業用扇風機を併用

屏の撤去を検討されたい。

- ② 堆肥生産ドームの屋根が一部破損しているため早急に修理されたい。
- ③ 普通堆肥の利用拡大を図るため、町内圃場での実証実験や天草拓心高校（本校）と協定を締結し、土壌改良効果の検証とPR方法を研究してもらうことを検討されたい。
- ④ 攪拌機の変更に伴いドーム内に堆肥の粉塵が舞っている。作業員の健康被害防止のための粉塵対策を検討されたい。

(2) 都呂々地区風力発電所

苓北風力合同会社が進めている風力発電施設の工事進捗状況等について、風車1及び2の建設現場を視察した。

(建設工事の概況)

苓北風力合同会社から、作業路開設工事において地層の一部に軟弱地盤があり法面に亀裂等が生じ、切土工の設計変更が必要になり作業工程に6ヶ月程度の遅れが生じている。現在、風車1から風車4の基礎工事が完了し、風車5は土台のセメント打設が半分終了している。来年1月には、風車1から風車5までの本体組立作業に着手予定である旨説明があった。

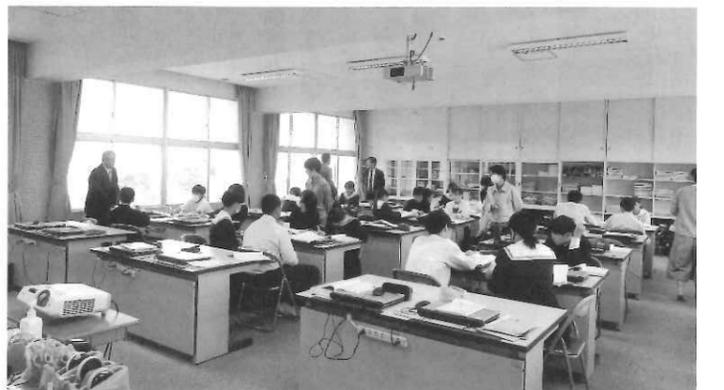
(委員会からの要望)

現地調査において特に問題点は見受けられなかったが、13基の風車建設にあたり基礎工事の生コン搬入時の交通事故防止や作業道路等工事に係る法面崩壊防止対策及び環境保全対策に万全を期されるよう要請した。

- (5) 雨天時の児童生徒の登下校の状況について
 - 雨天時の保護者等の送迎は学校によつて多い少ないはあるが、風雨が強い時の送迎は、7割から8割程度と高かった。
- (6) 苓北町、議会への要望について
 - 体育館への冷暖房機の設置、特別支援教育支援員の増員が主なものであった。
- (7) ランドセル保冷パットの登下校時の利用、登校後の取扱いについて
 - 小中学校のみ調査した。令和6年度に町教育委員会から配付されたアイスパットについて、令和7年度の利用はほぼなかった。利用実績のない学校もある。アイスパットを学校で冷やせないことや、破損が多かったことなどが原因としてあげられる。
- (8) その他意見交換
 - 天草拓心高校マリン校舎との交流について状況を尋ねた。
 - 高校と交流されている学校はあるが、学校によっては、交流は図りたいが送迎等の問題で交流が難しいとの声がかかった。

【全体まとめ】

各学校とも児童生徒には、先生方は愛情を持ち接せられている。また、児童生徒も元気で明るく授業を受けられている。現在、特別な支援を要する児童生徒



苓北中学校授業の様子

建設経済環境常任委員会
調査報告

委員長 山口利生

建設経済環境常任委員会は、9月26日及び11月9日に次のとおり行政視察調査を行い、12月定例会に調査報告書を提出しました。概要は次のとおりです。

1. 視察調査先
 - ① 苓北町堆肥センター（9月26日）
 - ② 都呂々地区風力発電所（11月9日）
2. 出席委員
 - 山口利生委員長、浜口雅英副委員長、錦戸俊春委員、高戸幸雄委員
3. 委員以外の出席
 - 野崎幸洋議長
4. 調査内容及び調査結果等

(1) 苓北町堆肥センター

苓北町堆肥センターは、令和6年度に農林水産省の国内肥料資源利用拡大対策事業補助金を活用し、老朽化した攪拌機やホイールローダー等の更新を行い、堆肥処理能力を最大限生かすための方策として下水道汚泥入り普通堆肥生産への一本化に向けた検討、準備を進めている。

本委員会では、堆肥センターを訪問調査し、更新した攪拌機やホイールローダー等の稼働状況及び今後の課題等の調査を実施した。

(委員会からの意見・要望概要)

① 門扉が破損し放置されている。施設管理上問題がなければ、ホイールローダー等の通行がスムーズになるよう門

熊本県天草広域本部と
建設経済環境常任委員会
との意見交換会

1. 期日 令和7年10月29日(水)
2. 場所 天草広域本部小会議室
3. 参加者
 - (天草広域本部) 倉光土木部長、清田農林水産部長、各課長
 - (委員会) 山口委員長、浜口副委員長、錦戸委員、高戸委員
 - (特別参加) 池田和貴熊本県議会議員
4. 意見交換会概要

(1) 富岡漁港入口は、海砂が大量に堆積し大潮の干潮時には水深が2m余となり、漁船の航行に支障が出ているので、早急な浚渫をお願いします。

(回答) 指摘箇所の浚渫については、国の交付金事業に切り替える予定であり、測量調査の予算を要求することとしている。

(2) 下水道汚泥を活用した堆肥の利活用対策に国は様々な支援対策を講じているが、熊本県の支援策は検討されているのか。

(回答) 県では、熊本グリーン農業の推進や有機肥料の促進等を実施している。天草広域本部も苓北町堆肥センター管理運営委員会に参画し、今後の利活用方策についても検討して参りたい。

(3) 小型船舶の放置艇は、天草管内においても多数確認されており、県としてどのような対策を講じられる考えなのか。

(回答) 管内の自治体と情報共有するための協議会を設置し、意見交換を行なうとともに放置艇所有者への撤去指導や所有者を特定するための調査等を実施している。

(4) 上津深江川において、平成27年6月集中豪雨時に濁流が護岸を越水し民家が床上浸水した。応急措置として大型土嚢による護岸嵩上げを実施されたが、異常気象による豪雨災害が頻発しており早急な護岸嵩上工事等を実施していただきたい。

(回答) 現在実施している志岐川河川改修工事が完了後、上津深江川の河川改修に着手する予定。なお、本年度からの場橋上流400m区間の河川掘削と樹木伐採を実施している。

(5) 県道坂瀬川御領線の坂瀬川中郷地内の三叉路から国道324号までの区間は幅員が狭く、車両の離合が困難な状況にあり抜本的な道路改良ができないか要望したがその後の状況はどうなっているのか。また、町内の県道は幅員が狭く、普通車の離合ができない状況にあり、早急な整備を実施していただきたい。

(回答) 今年度、現道の改良調査委託を発注し、どのような対策が必要か検討する予定。なお、幅員が狭い県道の全面改良工事は予算の確保が大変厳しい状況にあり、離合箇所を設置することで通行車両の利便性向上を図って参りたい。



町花「はまゆう」

議 会 日 誌



町木「ツバキ」

(9月22日以降分)

9月

26日 建設経済環境常任委員会

10月

- 1日 議会広報特別委員会
- 9日 県町村議会議長会議員研修会
(Web研修: 苓北町役場)
- 21日 第4回苓北町議会臨時会
- 29日 天草広域本部との意見交換会
[建設経済環境常任委員会] (天草広域本部)

11月

- 5日 総務文教厚生常任委員会
- 6日 町村議会広報研修会(県市町村自治会館)
- 7日 総務文教厚生常任委員会

12月

- 9日 建設経済環境常任委員会
- 18日 総務文教厚生常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 2~4日 第5回苓北町定例会
- 3日 全員協議会
- 4日 議会広報特別委員会
- 8日 関東ふるさと苓北会(東京)
- 23日 議会広報特別委員会

1月

- 4日 苓北町二十歳のつどい
- 9日 議会広報特別委員会
- 11日 苓北町消防出初式

議会だより『きずな』に対するご意見をお寄せください。

次の定例会は

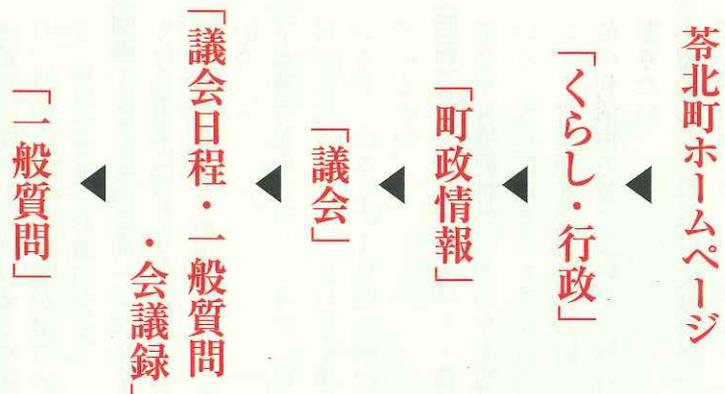
3月

です。

12月定例会の傍聴者は、**31人**でした。

会議録は、右記「議会日程・結果」内の「会議録・議事録」で閲覧できます。

“定例議会の一般質問がインターネットで聞けます”



上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年夏は例年になく暑く8月5日、群馬県伊勢崎市で気温41・8℃を記録し、気象庁が明治31年観測を開始して以来、国内最高となりました。

ちなみに2025年の天気を表す漢字一文字は酷暑の「酷」。一方、世相を表す漢字は「熊」でした。その暑さの所為か、山の木の実不足で、熊が人里に出没し、人身や作物などに被害が生じ、自然の厳しさと怖さを改めて感じる年でした。

今年、中国の古い書物「淮南子」に「人間万事塞翁が馬」。

これは、人生の幸不幸は予測不可能で、人生何が起るかわからない。良いことが悪いことに、悪いことが良いことに……。(逸話)

健康に留意し、馬のように力強くかけ抜けて行きましょう。

議会広報特別委員会